

祝 詞

栄光を讃えて復活を祈る



関西大学校友会

会長 寺西 武

この度、レスリング部が創部50周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことは誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。部創設以前から、関西大学レスリング部をとの思いで、創部に関わられましたOBの方々のご苦勞を、いろいろな記録で拝見いたしますと、戦後の荒廃の中、しかもレスリングという未知のスポーツに丸となり取り組まれた情熱あふれる関大健児の姿に、今更ながら深い感銘を覚えるものであります。

東京オリンピックで、市口政光さんが金メダルに輝いたことは、レスリング部のみならず、大学の歴史の上でも記念すべき一頁であります。私にも忘れられない出来事がありました。金メダルを獲られた市口さんが、大阪市内のある小学校を訪問された折、彼を目のあたりにした子ども達の目の輝き、希望に満ちた笑顔は、30年以上を経た今でもはっきりと脳裏に焼き付いています。スポーツが人々に与える感動、子ども達に与える夢の大きさには、計り知れないものがありますが、そうした華々しい活躍の裏には想像を絶する自己との戦い、日々の鍛練があります。

関大レスリング部は、金メダリストや数多くの国際選手を輩出されておりますが、こうした栄光は、それを勝ち取った選手だけでなく、監督はじめ部員一人一人の汗と涙の結晶であると確信いたします。現在のレスリング部の状態は厳しいものであります。部員諸君が益々情熱を持って努力され、かつての勢いのある部に復活されることを祈念して止みません。

さて関西大学校友会は、20余万の校友各位の結束のもとに、母校の躍進を誇りとしつつ、なお一層の団結を図り、新たな世紀に向けて飛躍を遂げたいものと念願しております。そのためにも従前にもまして組織の整備・強化を進めるとともに、一致団結して精進潔斎しながら、邁進いたしたいものと存じております。ここに「50周年」を迎えられた「レスリング部」の関係各位におかれましては、わが母校の発展のために、その栄光ある独自のご活躍を通じて貢献されてこられ、さらに向後も倍旧のお力添えを頂戴できるものと確信いたしております。その「知行合一」の精神を校友会もまた継承していきたいものと存じます。